

第2章 調査結果

第1節 動植物相調査（動植物の実態調査並びに情報整理）



1. 現地調査の実績

現地調査地点は、平成15年度の春日市自然環境マップ等作成業務の調査地点を踏襲し、春日市内20箇所とした。各調査地点の概要および調査実施日を■表7に示す（調査地点位置は第1章の■図1を参照）。



■表7 調査地点の概要

調査地点	主要調査対象地	環境	調査地点の概要
1	牛頸川1	川	<p>春日公園、ハローワークに隣接する市街地中の河川で、護岸、舗装に囲まれ、日影がない。転倒堰のため止水環境となっている。</p> <p>堰の下流側は中流環境がもどり、ツルヨシ、アカメガシワがみられる。下流側の瀬にはミシシippアカミミガメがみられる。</p> 
2	牛頸川2	川	<p>小学校前の中流河川。砂州、大岩、早瀬、オオタチヤナギ、淵などの環境要素がみられ、発達するツルヨシ群落周辺には、ハグロトンボがみられる。</p> <p>周辺部には緑の多い住宅地、緑地（御供田緑地）などの要素がみられる。</p> 
3	牛頸川3	川	<p>ツルヨシの茂る中流河川。</p> <p>ツルヨシ、メダケなどの間の草地にはシロバナサクラタデなどがみられる。河川敷にはアカメガシワ低木が多い。河床には花崗岩が露岩し、所により礫底、早瀬と浅い淵などの変化がある。オイカワが多く、流れこみなどにマユタテアカネがみられる。</p> <p>河岸路傍にはユキヤナギ、アベリア等が植栽されている。</p> 



※調査地点の位置はp3「■図1 主要調査地点位置図」を参照

調査地点	主要調査対象地	環境	調査地点の概要
4	諸岡川 2	川	<p>白水大池公園の北側にあたる。親水公園の修景にシダレヤナギ、ハギ類、ヒラドツツジ、ランタナなどが植栽される。上流側には水田が残存する。上流川の明るい河川堆積地湿地にはミゾソバ、ジュズダマ、イヌビエ、ヌカキビ、イボクサが生育する。石積み護岸では北向き側にのみイノモトソウ、ヨメナ、シロバナセンダングサ、ノキシノブ、ヌカキビなどがみられた。</p> <p>水路は概ね3面張で水質は中下流的で有機物が底に付き、部分的に少量の砂が堆積している。下流域では堆積が少なく、また住宅地内で半陰で、流域にはマコモ、イヌビエなどが少量生育している程度であった。底固めに抜き穴配慮があり、礫底となり、カワニナ、トウヨシノボリが生息する。</p> 
5	諸岡川 1	川	<p>須久小学校に隣接する。ブロック積み3面張水路で幅5m程。</p> <p>水質は中下流的であるが、特に顕著な悪化はみられない。水量は少なく、砂等の堆積がなく、カワニナ等もみられない。</p> <p>周辺に小面積の水田があり、ヌマガエル、アマガエルなどの個体数は比較的多い。</p> 

※調査地点の位置は p3 「**■** 図 1 主要調査地点位置図」を参照

調査地点	主要調査対象地	環境	調査地点の概要
6	社池	溜池	<p>スイレンが茂る自然的な溜池。池畔林はコナラ、アラカシなど。 アオイトトンボ、コシアキトンボなどトンボ類がみられた。 春日神社自然林のバッファゾーン（緩衝帯）としても重要。林内にはミミズバイが多く、コクランもみられる。春日神社社叢より、一般観察に適する。</p> 
7	大牟田池	溜池	<p>周囲はアカマツ林であるが、松枯れ被害が顕著で、倒壊ギャップにウラジロ、コシダが生育する。 林内にはヤブツバキ、タブノキなど照葉樹林の普通種もみられないなど単純化が顕著。 地域では少ない抽水植物群落が小面積みられ、イヌクログワイ群落がみられるほか、リターパック（腐植質層）、植物カバーなどの環境も良好で、カワニナがみられる。 溜池堤防内側はブロック張りとなる。</p> 

※調査地点の位置は p3 「**■**図 1 主要調査地点位置図」を参照

調査地点	主要調査対象地	環境	調査地点の概要
8	春日貯水池	溜池	<p>池畔はアカマツ林主体の樹林地で、コナラパッチを含む。</p> <p>林内にはコシダ、シャシャンボ、ヒサカキ、ワラビ、ナキリスゲ、アカメガシワ、ハゼノキなどが見られるほか、一部にネザサ・ススキ草地がみられる。また、エノキ、ハゼノキが混生するアカメガシワ群落等がみられる。</p> <p>堤防はメリケンカルカヤ、タチスズメノヒエ、アメリカスズメノヒエなど外来種主体の草地である。</p> 
9	惣利池	溜池	<p>周囲はシイ林、コナラ林で、胸高直径約 30~40cm 程度。透明度は高く、底質は花崗岩風化砂、若干の泥が混じる。</p> <p>オオカナダモが堤防からの視野で 1/2 を覆う。ブルーギルが目視される。</p> 




※調査地点の位置は p3 「**■**図 1 主要調査地点位置図」を参照

調査地点	主要調査対象地	環境	調査地点の概要
10	上散田池	溜池	<p>岡本コミュニティ供用施設前の盤石池は人工的な池で、水深 10～30cm、水質は茶褐色、透視度約 40cm 程度。底は泥底である。スイレンが繁茂し、カダヤシ、コイがみられる。植栽木として、アラカシ、ナンキンハゼ、ユリノキ、コナラ、ソメイヨシノなどがみられる。</p> <p>上散田池は住宅地と資料館に挟まれ、ヤマモモ、ヒメユズリハ、アラカシ、クスノキ、ソメイヨシノが植栽される。流れ込み付近も庭園風の整備がなされる。キショウブ、ウシガエル、アカミミガメ、ヌマガエルなどがみられた。</p> <p>付近にオオバヤドリギが生育する熊野神社がある。ここではクスノキ・スダジイ林があり、ミミズバイ高木がみられる。</p> <p><上散田池></p>  <p><盤石池></p> 
11	市役所の駐車場及び道ばた	市街地	<p>舗装地が多く、街路樹緑地、花壇に路傍雑草が生育する。植物は帰化植物が多く、他の小動物も少ない。</p> 

※調査地点の位置は p3 「**図 1** 主要調査地点位置図」を参照


調査地点	主要調査対象地	環境	調査地点の概要
12	日拝塚古墳	公園	<p>古墳に隣接して小公園が設置される。定期的に草刈される住宅地中の小規模なシバ地である。</p> <p>植栽にエノキ、クロガネモチ、ソメイヨシノ、モミジバフウ、サツキなどがみられる。</p> 
13	春日公園	公園	<p>マテバシイ、ムクノキ、クスノキ、クヌギ、アキニレ、アラカシ、アカマツ等多様な植栽木がみられる。モミジバフウ等外来樹種も多い。</p> <p>他に田んぼビオトープ、日本庭園など多様な環境がみられる。</p> <p>昆虫類、鳥類も良く目に付く。</p> 
14	白水大池公園	公園溜池	<p>溜池公園で周遊歩道がある。池畔林はアカマツ林が主体で、松枯れ被害があり、胸高直径 40～45cm 程度、コナラで 40cm、他、高木にアラカシ、クロキ、ヤマハゼ、林下にネジキ、ヒサカキ、ハゼノキ、コシダがみられるが林の構成は単純である。</p> <p>ヒヨドリ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、モズ、アオサギの休息などが観察された。水域では、冬季にはカモ類が飛来し、水際に矮生湿生草木群落が発達する。</p> <p>他に草刈で維持されるチガヤ草地などがみられる。</p> 


※調査地点の位置は p3 「**■**図 1 主要調査地点位置図」を参照

調査地点	主要調査対象地	環境	調査地点の概要
15	元宮公園	公園	<p>林内は清掃管理がされている。株立ちのシイ・カシ林で、イチイガシ、カゴノキなどが混生する。</p> <p>林底にはナキリスゲ、ササクサ、ミミズバイなどがみられる。ホタルガ、ササキリなど少数の昆虫もみられた。</p> 
16	春日神社	山林	<p>照葉樹の準自然林、大径木があり、アオバズクの渡来が知られる。他にアナグマの痕跡が得られた。</p> <p>直径 50cm 程度のスダジイや、ツブラジイなどが高木層にみられ、下層の被度は比較的高く、時に低木層が 50% となる。ミミズバイが多く、シロバイ、センリョウ、オオカグマも多い。社叢林ではあるが、イチイガシが混生する。</p> <p>駐車場の造成等により、二次的な林分ではあるが、辺縁部が縮小している。</p> <p>森林伐採部は白いコンクリート噴きつけが露出し、むき出しになっている。</p> 
17	天神山 水城跡	山林	<p>ツブラジイの二次林で胸高直径 35~40cm で株立ちとなる。他にカクレミノ、ハゼノキ、クスノキ、アラカシ、アカマツ (φ 30cm) コナラ (φ 35cm) などがみられる。出現種は白水八幡と補い合い、ミミズバイが多いほか、カクレミノ、ナナミノキ、オオカグマ、ヤブコウジなどが生育する。</p> <p>ソメイヨシノ、ヒラドツツジなどが植栽される。</p> 

※調査地点の位置は p3 「**■**図 1 主要調査地点位置図」を参照

調査地点	主要調査対象地	環境	調査地点の概要
18	春日市 南部の林地	山林	<p>シイ・カシ二次林、中原大池にはハスの群生が広くみられ、地域的には最大規模の低湿地となるが、付近に新規道路工事もあり、埋立てが進行している。</p> <p>路傍や造成地の荒地雑草群落はセイタカアワダチソウ、ブタクサ、アキノエノコロ、メドハギ、クズなどの他、緑化材のマメ科植物が生育する。</p> <p>山林の土壌は花崗岩風化土で、表土は薄い。高木層にクスノキ（胸高直径 60cm、クリ同 45cm、アラカシ株立ち同 30cm、ツブラジイ株立ち同 35cm）などが生育し、林床にはツワブキ、ベニシダ、ヤブムラサキ、クロキ、ネズミモチ、ヤマフジ、アラカシ、ヒサカキなどがみられる。</p> <p>林縁にはわずかにクマノミズキ、エノキが混生するアカメガシワ群落があり、ヤマノイモ、ヘクソカズラなどのつる植物が生育し、メジロ、イノシシ（足跡）などがみられた。</p> 
19	白水 八幡宮	社寺	<p>下層が取り払われた社叢林で、地域に親しまれる社寺である。</p> <p>高木層にクスノキ、スダジイ、イチイガシ、ホルトノキ、クロガネモチ、コバンモチ、ヤブツバキ、タブノキなど比較的多様な種がみられ、スダジイが優勢でアラカシがない。</p> <p>下層にはミミズバイ、リンボクなどが残る。潜在植生の組成をとどめた構成とみられる。</p> <p>大径木はやや少なく、樹洞等は少ない。</p> 

※調査地点の位置は p3 「 図 1 主要調査地点位置図」を参照

調査地点	主要調査対象地	環境	調査地点の概要
20	清掃工場側の田んぼ	田んぼ	<p>住宅地と低い樹林帯に挟まれた開放的な浅い谷戸の水田で、サトイモ畑、素掘り水路、放棄畑などの環境要素がみられる。</p> <p>道路側は3面張水路となる。山林はツブラジイ林、ヒノキ植林よりなり、林内は乾燥する。</p> <p>水田ではヌマガエル、トゲヒシバツタ、ハネナガイナゴ、アメリカザリガニ、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）などがみられた。タカサブロウなど在来の水田雑草も残存する。</p> 

※調査地点の位置は p3 「**■**図1 主要調査地点位置図」を参照